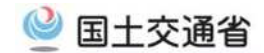


今後の取組み

# 水害リスク情報の充実（多段階浸水想定図の作成）



- 流域治水の取組を加速化させるため、想定最大規模に加えて、**より頻度の高い降雨による浸水範囲**を頻度毎(1/30、1/50、1/100等)に示した**多段階浸水想定図(水害リスクマップ)**の作成を進め、まちづくり等での活用を推進する。

## 多段階浸水想定図(水害リスクマップ)の作成推進

従来

浸水想定区域図及び  
ハザードマップ作成対象の拡大  
(外力: 想定最大規模)

+ 水害リスク情報の充実

多段階浸水想定図  
(水害リスクマップ)の作成推進

### 多段階浸水想定図(水害リスクマップ)

- 想定最大規模より**発生頻度が高い、複数の確率規模毎の浸水想定図**を作成。加えて、これらを治水対策の整備段階(短期、中期、中長期)ごとに作成していく。
- 活用目的に合わせ、これらに人口、資産等の被害規模情報を付与した地図。

### 水害リスクマップのイメージ

